サポセン mail　No.１７９．２０１８.3.25 発行

＜発行元＞　特定非営利活動法人　緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町２－25－78　ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０４３－３０８－４４３６
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konnjiki.jp/

春から「あそび塾」で野菜作りをはじめるよ！

春以降のあそび塾の活動で「野菜づくり」を始める予定でいます。
誉田駅から歩き、市原市のグリーンヒルの住宅の端にある、畑をお借りすることになりました。

これまでも「お芋ほり」や「田植え・稲刈り・お餅つき」「そばの刈り取り・そばの脱穀・打ったそばを試食」など収穫の体験や楽しさを味わう活動を沢山してきましたが、いつも農家の方が苦労して育てたものを収穫することのみが多く、「いいとこどり」の体験が多かったと感じていました。これでいいのかな・・・と感じていたところ、あそび塾に参加されている長菅千夏さん（みちかちゃんのお母さん）より野菜を作る活動をしてみてはという提案をいただきました。

＜長菅さんのお気持ちを文章にしていただきました＞

８年前、畑ではない土地を借り堅いゴロゴロの土地を耕し土づくりから、無農薬・有機栽培での野菜作りを始めました。

５年前からはプランター栽培に代わり、土づくり・肥料作りをしています。人工の化成肥料を全く使わず自然に近い状態が、虫・鳥・微生物と共に美味しい野菜や美しい花を育ててくれることに着目し、病気に強く美味しい野菜や花作りを実現中です。

畑での野菜作りは水やりや雑草をとるなど大変な重労働と考えられますが、水やりもあげ過ぎると根を弱らせ病気になったりします。畑では表面は乾いていてもそれで野菜が枯れることはほとんどありません。虫はダメになった植物を食べてその糞が土をよくしてくれて植物の栄養となります。微生物も葉っぱを分解し、ふかふかのいい土が保たれ、自然に土を柔らかく耕してくれています。鳥が虫を食べてくれることで、一種の虫が増えすぎないようにしてくれます。農薬で一種の虫を絶やすことは、自然のバランスを崩してしまうことになります。

農家の野菜作りとは全く逆の作り方になってしまうかもしれませんが、農薬も化成肥料を全く使わず、虫や鳥や微生物の力を借りて自然な野菜作りをしたいと思います。（４面へ）

あそび塾　２ 月.3 月 「陶芸に挑戦！色付け→完成編」

「土の塊を力いっぱい捏ねて、自分だけの作品を作ってみよう！」

世界で１つだけの陶芸作品　完成しました！

あそび塾では１月から３月にわたり（3 期に分けて）陶芸に挑戦しました。場所は、誉田駅南口から歩いて５分の「ふくろう屋２号店・２階」です。
硝子張りの日当たりのいい広々とした空間、優しい先生と一緒に和やかな雰囲気で作れたことで、子ども達の想像力を存分に発揮することが出来ました❤

ていねいな仕上がりにびっくり

たくさん作ったね❤

最初からイメージがしっかり決まっている子。家族の人数を考えて箸置きを作る子。シンプルで大きな 1 枚皿をすごく丁寧に作る子。理事の私にも「作ってあげようか？」と言ってくれる優しい子。素早く作って遊んでいる子も、この時間をとても楽しんでいます。

１月 28 日に作った作品に、２月 18 日は色を塗る作業をしました。たくさんの色を用意して下さったのですが、「こんな色を作って～」と子ども達の要望通りの色も作っていただきました。

筆を使って細かく工夫して塗っている子もいれば、器用に絵を描く子もいました。

さて、どんな作品となって完成するのでしょうか？

とってもきれいな色が出ました

ふくろうカフェの方は、あそび塾でもっとも大切にしていることである、「大人はなるべく手を出さないで見守り・子どもが失敗してもいいこと、それがその子の成長につながる」との考えを「子どもが成長するうえで大切なことですね」とおっしゃってくださいました。
見学していたお母さんは、終了間際の空き時間に、本を読んでいる子や走り回っている子、紙芝居を作って劇をやっている子を見て「この何でもない、時間が大切ですよね」と言ってくれました。

学校も違う異年齢の子ども達が、たくさんの大人に見守られて、安心して楽しめる居場所であればいいなと思っています。

最後に☆子ども達は形を作り→色を塗り→仕上りを見る、の 3 回の作業だけでしたが、工程の間には、素焼き 8 時間・本焼き 14 時間！いろいろな色を準備してくださったおかげで、子ども達の思いを形にすることが出来ました。このたびは本当にありがとうございました。　　（田中）

店頭に並ぶような見た目がよく大きさもそろった野菜を作ることが目的ではなく、種から（あるいは苗から）野菜を育て、その野菜からまた種をとるという活動をするなかで、教科書通りではない体験をたくさんしてほしいと思います。虫に育てた野菜が食べられたり、時には植えたイモ類がイノシシに食べられる・・・ということもあるかもしれません。そんな体験も貴重なものかもしれません。

これまでも、お芋ほりや田植えなどの体験活動をしてきましたが、収穫だけの体験ではなく年間を通して土や作物に触れる体験をし、種から野菜が育っていく過程を子どもたちと共に体験したいと思っています。

生物はつながるすべてのものが必要であり、要らないもの（人）は無い。自分自身にも大事な役割があるということを野菜作りの体験を通して感じてもらえればと考えています。

＜具体的には＞

●第１日曜日・・・・自由参加で畑作りや野菜の世話
（雨天延期または中止・８月等は休み）参加費なし

●あそび塾の活動として・・・種植え・苗植え・収穫・調理会食など
おおよそ年間４回ぐらいの予定
参加費あり（苗代・肥料代など）

これまでやってきた「芋ほり」や「田植え」などのように年に数回の体験活動をあそび塾として活動してゆき、自由参加でやりたい子どもは野菜が育つ経過にもかかわっていく活動を入れていきたいと考えています。農地は誉田の予定なので、誉田駅で待ち合わせをしてみんなで歩いていく予定です。無理に参加する必要はありませんし、気軽に始めていければと考えています。

２０１８年前期あそび塾のお知らせ

４月２２日（日）「トマトの苗を植えよう！枝豆の種も植えるよ！」

５月１３日（日）「カーネーションのフラワーアレンジメント！」

６月１７日（日）「自分だけの木のおもちゃ作り」

７月２４日（火）「プロと一緒にたくさんあそぼう！」

８月未定　（日）「野菜の収穫。美味しい野菜を食べよう！」

９月未定　（日）「新鮮野菜でイタリア料理に挑戦！」